

2016J2

■順位表■第23節(暫定)

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績(岐阜から見て)

| | | | | | | | |
|----|----|------|-----|-----|----|----|-------|
| 1* | 1 | 札幌 | 47p | +18 | 33 | 15 | H● |
| | 2 | 松本 | 47p | +17 | 36 | 19 | H● |
| | 3 | C大阪 | 47p | +13 | 33 | 20 | H● |
| | 4 | 岡山 | 40p | +10 | 34 | 24 | AO |
| | 5 | 清水 | 36p | +23 | 43 | 20 | H△ |
| | 6 | 京都 | 38p | +8 | 39 | 22 | H● |
| | 7 | 山口 | 37p | +1 | 35 | 34 | H● |
| | 8 | 町田 | 36p | +6 | 27 | 21 | A△ |
| | 9 | 千葉 | 32p | +3 | 31 | 28 | A● |
| | 10 | 山形 | 28p | -1 | 24 | 25 | H● |
| 1* | 11 | 愛媛 | 28p | -3 | 18 | 21 | AO |
| | 12 | 徳島 | 28p | -4 | 22 | 26 | AO |
| 1* | 13 | 長崎 | 27p | -4 | 26 | 30 | H● A● |
| 1* | 14 | 水戸 | 26p | 0 | 21 | 21 | HO A● |
| 3* | 15 | 熊本 | 25p | -9 | 23 | 32 | H● |
| 1* | 16 | 横浜FC | 24p | -5 | 23 | 28 | AO |
| | 17 | 岐阜 | 24p | -11 | 26 | 37 | --- |
| | 18 | 讃岐 | 23p | -8 | 22 | 30 | A● |
| | 19 | 東京V | 23p | -11 | 20 | 31 | A△ |
| | 20 | 北九州 | 20p | -17 | 21 | 38 | HO |
| | 21 | 群馬 | 19p | -12 | 24 | 36 | A● |
| | 22 | 金沢 | 19p | -14 | 22 | 36 | AO |

注：*のついたチームは消化試合が
前の数字だけ少ない(1*は1試合)

次回HomeGame

第27節 vs. カマタマーレ讃岐

8/7(日) 18:00

@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場



本庄工業株式会社

<http://www.honjo-woodream.com/>

岡田歯科医院

岐阜市加納新本町1-23

tel: 058-273-8998

ALADDIN

何も無い店だけど..

心の花が咲く..

何も無い店だけど..

心癒される..

忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

today's guest : ツエーゲン金沢

2015 J2 12勝18分12敗 勝ち点54: 第12位

直近の対決と結果

2016/04/23
J2-09節@石川西部

金沢 1-2 岐阜

エヴァンドロ、風間宏矢
scored.

ここ3試合の公式戦の結果

| FC岐阜 | | ツエーゲン金沢 | |
|-------------------------------------|--|-------------------------------------|--|
| 2016/07/16 J2-23節@Kスタ 水戸 1-0 岐阜 | | 2016/07/16 J2-23節@石川西部 金沢 1-0 山形 | |
| 2016/07/10 J2-22節@長崎県立 長崎 2-1 岐阜 | | 2016/07/10 J2-22節@松本 松本 4-2 金沢 | |
| 2016/07/03 J2-21節@長良川 岐阜 0-1 京都 | | 2016/07/03 J2-21節@石川西部 金沢 0-0 讃岐 | |

●J2の2016年シーズン前半戦最後となる7/3(日)第21節、ホームに京都を迎えたFC岐阜。折り返しの試合を勝利で飾りたいところだったが、熊本地震の影響で変則の中3日だった京都を相手に、1-0と敗れてしまった。続く7/10(日)第22節・アウェイでの長崎戦は、#34田中達也の今季初ゴールで先制したものの、長崎のエースFW#9永井龍に2得点を決められて1-2での逆転負け。そして7/16(土)第23節のアウェイ水戸戦でも、前半16分にセットプレーを決められ、そのまま0-1での敗戦。これでFC岐阜は今季ワーストの4連敗を喫してしまい、順位も10位から17位に急降下。降格圏である最下位・金沢および21位・群馬との勝ち点差もわずかに5と、危機的な状況に陥っている。しかし、その最下位から勝ち点差9で10位・山形がいることからわかるように、例年どおりとはいえず、今年のJ2も中位~下位の争いが激化しており、まさに大混戦だ。わずかな勝ち点の差が順位に大きく影響する。目の前の1試合に集中して、勝利をそして勝ち点を積み上げていく作業がチームには今後も求められるだろう。

シーズン後半戦も3戦目となっているが、2016年前半戦のFC岐阜の戦績は、7勝3分11敗・25得点34失点で13位。中位にいたのだが、敗戦数・引き分け数そして失点数がワースト。そして前半の失点が25、うち15分までの失点が11と、いわゆる「試合の入り方」がいつも悪く序盤に失点し、勝ち点を拾える試合を落としているという分析ができる。また、アウェイでは5勝2分3敗・17得点15失点と健闘している一方、ホームで2勝1分8敗・8得点19失点と散々な成績だ。ホームでもアウェイでも勝利の勝ち点に差はないが、やはりホームで勝たないとチームの勢いも出ないだろう。後半戦は、チーム一丸となってホームで勝つための意識をさらに高めて試合に臨んで貰いたい。

さて、シーズン後半戦はじめてのホーム戦となる、今節の対戦相手はツエーゲン金沢だ。昨年はJ2昇格初年度ながら健闘し、最終順位は12位に終わったものの13試合負け無しの快進撃で、一時は首位にも立ったチームだ。今年は主力選手が大量に流出してイチからのチーム作りとなり、現在は最下位と苦しんでいるが、夏の補強で獲得した#38中美慶哉のゴール、そして我らが岐阜から期限付き移籍で「里帰り」した#40秋葉勝の活躍で、前節の山形戦を勝利し、徐々にチームに勢いが出てきている。今節は契約上、#40秋葉勝は出場しないが、移籍後に早速結果を出している#38中美慶哉や、4得点の#30FW山崎雅人、#8山藤健太には注意が必要だ。一方の岐阜では、古巣対戦となる#7田中パウロ淳一の活躍に期待したい。金沢との、Jリーグでの対戦成績は1勝1分1敗・3得点4失点。前回対戦となる4/23(土)アウェイ第9節は、#9エヴァンドロ、#14風間宏矢のゴールで2-1と勝利している。一方で昨年の3/29(日)ホーム戦では0-2で敗れている。今節は、前回対戦の再現と昨年のリベンジを果たしたいところだ。特に、この大混戦の残留争いからいち早く抜け出すためには「残留争いをしているチームとの直接対決で必ず勝つ」ことが非常に重要で、それはこれまでのFC岐阜のJ2残留争いの歴史からも明らかだ。だとすればこの試合、決して負ける訳にはいかない。

2016シーズンの第2移籍期間が、7/1(金)~7/29(金)の間に設定され、各クラブとも選手の補強をはじめている。岐阜の動きは不明だが、前半戦とはチーム戦力・バランスも変わるため、今後の対戦相手も油断は禁物だ。4連敗中そしてホーム・長良川では4ヶ月未勝利と苦しいチーム状況だが、最後まであきらめない拍手と声援で、選手たちの背中を後押しすることこそが、この苦しい状況を打開する最善の方法だと信じたい。(ささたく)



「いらっやいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩3分。

休:月曜日

投稿募集!!

アドレスが変わりました

gidaidohri@gmail.com

【第21節】岐阜0-1 京都

●試合開始の3時間前。ゲリラ豪雨と言っいいぐらいの大雨が降って、地勢上どうしても水はけが良くない長良川のピッチコンディションは急激に悪化。でも、僕は心の中で「これは岐阜にとってチャンスかも？」って思っていた。京都は熊本地震の影響で延期となっていた試合を6/29(水)に戦って、中3日。こちらは、その熊本に前節で負けた(溜息)けれど、通常通り1週間。どう考えたって、選手の疲労度・コンディション的にはウチの方が有利だ。しかも雨でボールが止まり、思うようなパスは出せない。ならば、徹底的に縦に走ってボールを京都DFの裏に入れて相手を疲れさせ、足が止まってきたところでトドメを刺す…そんな泥くさい、ある意味では非常にシンプルな試合展開をして勝ち方を想定していた。ところが、だ。ピッチでボールが止まるのは想定通りだったけれど、相手を走らせる展開にしないのは完全に想定外で(苦笑)。あるいは、ホーム長良川のピッチだというのに、その芝がどんな風になっているのかが把握できていなかったのかな?もちろん、良い攻撃も見られたけれど、悔しいかな、「残念、そこは#1菅野孝憲…」とばかりに相手GKに防がれる。そうやって押し込んでいるときに決めきれず、逆にカウンターでゴールを割られるのは、よくあるサッカーの風景ですよ…(溜息)。最後まで京都の選手は走り負けなかった。あるいは、岐阜の戦術が、京都の足を止めることができなかった。「自分たちのサッカー」という言葉がよく使われるけれど、こういう状況に合わせた戦い方が徹底できないのは、単に「引き出しが少ない」だけだと思われるんじゃないかなあ…(溜息)。

でも、決勝点を決めた#9ダニエル・ロビーニョには複雑な気持ちだ。昨年限り付き移籍で岐阜に来る予定だったがメディカルチェックで難病がわかり、選手生命も危ぶまれたけれど、こうして元気な姿が見れたのは嬉しかった。「得点決めてくれ」とは全く思っってなかったんだけどねえ…。

(ささたく)

●梅雨明けした地域もあるようです。また、夏が来るんですね。でも、ドコぞのサッカークラブは、今まさに梅雨真っ最中のようで、明ける見込みがハッキリとしません。今の京都から勝ち点取れませんか……。

試合はまさに“雨の長良川”の真骨頂。それでも、ウチはずいぶんと手慣れたように見えるプレーぶり。逆に、京都の選手は対応に四苦八苦、そんな感じに見えたのですが、ゴールを決めたのは苦しんでいた方の京都。そして、それがそのまま決勝点に。しかも、決めたのがダニエル・ロビーニョ。サッカーの神様はなかなかのイタズラ好きなんでしょうね。いつも以上に“戦術・レオミ”でした。プレスキックからロングスローまで。「これが勝つための最善策」。そういうことなら、それはそれでいいんです。でも、彼を最大限に活かすような戦略があったようには見えませんでした。なぜ、宏矢に替えるのがタツヤなんですか?雨の長良川は極端にボールが止まります。この日は中央辺りは転がっていたようにも見えましたが、タツヤの主戦場は右サイド。一番止まってたところですよ。実際、彼が相手DFに勝負を仕掛け、ドリブルをしようと前へ出したボールが急停止。ボールを通り越してしまっったタツヤが慌てて反転した場面がありました。スピード系の選手がケガをしやすいパターンです。一瞬、ヒヤッとしてしまっただが何事もなく安心しました。そんな、ただでさえドリブル勝負を仕掛けるスペースのないピッチに、レオミとタツヤを並べるとというのが不可解です。1点ビハインドなんですから、岡根を入れての大作戦でもよかった。監督のめざすサッカーではないでしょうが、ピッチ、順位、相手を考えたらその方が現実的で効率的だったんじゃないかと。自ら反撃の芽を摘んだような気がします。

気がつけば、降格ラインとは6ポイント差。2ゲームしか間がない状況。しかも、ウチより試合数が少ないクラブも多い。

やはり、今季も目標は残留。そういう認識がクラブに関わる面々に必要でしょう。いささか、気が重いですけどね。梅雨のせいですかね?

(ぐん)

【第22節】長崎2-1 岐阜

●雨の中おつかれさま。選手も現地組のみんなも。でも、また永井か。J2の得点ランキングのトップ・タイっていうけど、12得点中うちから5点だよ。いつか、どこかで穴埋めをしてもらいたいもんだ。

で、肝心の試合は、といえは逆転負け。久しぶりに先制したのに、長崎の勝利をより劇的にしてしまっただけだった。しかも、長崎は今季ホーム・ゲーム初勝利だとか。ホントに花を添えてしまっったなあ……。

とはいえ、先制ゴールも取るべくして取っただけではなく、完全なタツヤの個人技。もちろん、相手DFの一瞬の隙を突いたタツヤのゴールは素晴らしかったけど、それっきり。全体的に精彩がないというか、得点の匂いがしないというか……。レオロシャが開始早々の接触の影響か、特に精彩がなかったのが誤算だった……のかなあ?しかし、この日の2失点目はいかにも残念な失点に見えた。前節の失点同様CBとしては屈辱的な失点ではないかな?いずれにしても、前節の京都、今節の長崎から勝ち点が取れないとなると……。事態は、風雲急を告げるという感じなのかもしれない。

次節はアウェイで水戸。千葉に勝って調子は上向き。だが、水戸と金沢で勝ち点取らないとキビシイ。その後に控えるのが札幌、清水。ともにアウェイ。一カ月に勝ち点5は必須というのが、自分の考える残留のための目安なんだが、今月は少々難しいかもしれないね。しかし、それでも週末は来るし、試合はある。長崎には行けなかったけど、水戸も札幌も清水も行くつもり。共に喜びを分かち合いたい。(ぐん)

【第23節】水戸1-0 岐阜

●15位・岐阜と16位・水戸の直接対決。負けられない対戦相手…しかし、スタメンを見た時、正直僕は驚いた。#18富士祐樹と#19益山司、最近試合に出ていない両SBを同時起用とは…もちろん両選手のコンディションが上がったんなら喜ばしいことだけれど、これって、中3日の次節・ホーム金沢戦のための“ターンオーバー”か?って思ってしまったのだ。そして、そんな嫌な予感的中してしまうんだよね…(溜息)。

サイド攻撃を狙うのは良いんだけど、中央突破とかドリブルで突っかけるプレーが少ないもんだから、どっちのサイドに、しかも待ってる選手の足元にボールが行くのかバレバレで、相手は素早く複数でプレッシャーをかけてくる。そこでも、ボールを貰いに行っってドリブルなりパスなりで守備を突破できればいいけれど、それができずに安易な横パスやバックパス。スペースに動いてボールを受ける選手もいないので、苦しくなっって前線にロングパスを出すけれど、ボールが収まらずに相手にボールを拾われて、逆に攻撃を受ける。岐阜の攻撃は個人技頼みでサポートが少ないから、複数で対応すれば防げる、セットプレーも大丈夫…そんな、実に分かりやすい“FC岐阜の攻略法”で、試合の流れは完全に水戸ペース。守備は踏ん張っていたように思えただけれど、そりゃ効果的な攻撃が全くできずにリズムが悪くなれば、そりゃファールからのセットプレーで失点もしますってば。最後に#4岡根直哉を投入して、いわゆる“大作戦”をはじめると、前線に張った彼にボールが収まるようになって、少しは攻撃の形が見えたような気もしたけれど、いかんせん時間が足りなかった。もうこうなったら、試合開始時から「1トップ・岡根」でいいんじゃないかしら。たしか、そうやって勝ったチームが、お隣の県にあったような…(苦笑)。

負けてしまった試合は、しかたない。気持ちを切り替えるしかない。でも、今節の負け方は、まさに「負けに不思議の負けなし」、このままのチームのやり方では、どんなに練習したって勝てないのでは…何か対策が必要なのでは…そういう不安が心のこいつばいに広がってしまった、そんな敗戦だった。(ささたく)

●やるせなさのみが残る試合。岡根投入後の10分間だけが、気分のアがる時間でした。つまり、そういうコトです……って、それじゃ、わかりませんね(苦笑)。トップにボールが収まる。あるいは、そうでなくてもセカンドボールが拾えれば、ある程度は形に出来る。それくらいのことはヤレルメンバーがいます。問題は、なぜ最初からそうしないのか？京都戦も長崎戦も、そしてこの水戸戦も。もっと言えば、勝ったとはいえ、横浜戦の前半もまったく何もできないような状況ばかりが目につきます。

疑問に思うのは、なぜ、この時期になっても、スタメンが固定されないのか？確かにコンディションの不良や警告の累積による出場停止という不可抗力のケースはあります。もちろん、常に調子のよい順で選ぶという手法もあるとは思いますが。それだけ選手の力量が拮抗しているというならウレシイ話でもあります。そして、初めに選手ありきで、その特徴を生かしたシステムで戦う。それなら喜ばしいことです。でも、ホントにそうですか？チームとしてのどう戦うのか？そういう共通認識は選手にキチンと浸透していますか？そもそも、そういう約束事はありますか？

この試合の失点シーン。たしかに、かぶってしまったのはミスです。想定できないかもしれない。しかし、得点したのは水戸のエースFW。なんで、どフリーなのか。ウチのセットプレーでの守備はマンツーマンだったと思ってましたが違うんでしょうか？攻撃の時に後ろで回したり、バックパスをするのはアリだと思ってます。相手にボールを渡さなければ失点はしない(例外はあり)。だけど、その先は？選手のアドリブ待ちですか？この試合の前半終了時にレオミがピッチで治療を受けていたのを見て、「あ、これは交替あるな。」と思いました。戦力的には痛い交替でしたが、逆にレオミの強引な突破以外の連携的なプレーを見せるチャンスでもありました。なのに……。結局、放り込みの大作戦ですか？だったら、京都戦でもそれをやったらイイのに。

他のクラブは徐々に熟成が進んでいっているように見えます。これから、ますます進んでいくでしょう。かたや、毎年終盤に調子が落ちていくクラブ。次節の金沢戦。勝てますか？負ければ今季も残留争いに巻き込まれます。というか、自ら飛び込んでいったという思いすらあります。3年目も同じことの繰り返しですね。以前から書いてきましたが、メンバーの品揃えはクラブ史上最高です。人件費から見ても歴然としています。そして、他のクラブと比べても劣っているとは思えません。なのに、こんな試合内容ですか？結果を聞いているんじゃない。内容が、です。

次節の金沢。勝ちましたね。山形相手に。秋葉がスタメンだったから。それが理由かはわかりません。そして、その秋葉はウチとの試合には出場しません。しかし、その金沢に負けてしまったら？昨季の快進撃のキーマンであった秋葉が戻ったら、金沢は昨季の勢いを取り戻すかもしれない。その秋葉がいない金沢に不覚を取るようなことがあればどうなるか。そろそろ、フロントも決断に向けて準備を進めてもいいんじゃないですか？どのカテゴリーになっても応援していくことに変わりはありませんが、だからといって、手をこまねいてJ3に降格するなんてことを受け入れる気持ちは毛頭ありません。長良川に参戦出来ない悔しさを抱きつつ、スカパー！で観戦します。

あ、それから瀧谷に個人的感想。DFの岡根に負けてるようじゃダメだ。わかっているとは思いますが、もっとヤレルハズ。精進してください。期待してます！

(ぐん、)

【ユース】G1 リーグに参加中

●我々がFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)はG1リーグに参加しています。7/2(土)に第6節関商工戦、7/9(土)に第7節中京高校戦、7/16(土)に第8節県岐商戦があり、それぞれ4対2、1対1、2対1の2勝1分0敗で、現在通算5勝3分0敗の勝点18で2位となっています(長良高校と勝点、得失点差同じで同率2位です)。現在の首位は7勝1分0敗で勝点22の帝京大可児高です。このまま後を追いかけていき、後半の直接対決で雌雄を決するしか無いかな？と思います。

この後は7/23(土)15時KOで大垣市の浅中多目的にて第9節の各務原戦が予定されており、その後は1か月ほどの中断期間になります。23日はトップチームの試合と重なっていませんので、良ければ応援に行ってください。

頑張れよ、応援しているからな！FORZA！FC岐阜ユース！！
※試合会場・時間は変更される場合があります。必ず岐阜県サッカー協会やチームの公式サイトで確認して下さい。(シュナ)

【データ】今年“特別”なの？

●FC岐阜に“秋の訪れ”を告げる風物詩といえ？読者の皆さんはおわかりですよ？もちろん、答はこの『岐大通』に掲載される「下位リーグ」の順位表です。もう毎年のごとですからね、編集サイドも手慣れたものです(自虐)。

去年は、この時期から「J3順位表」を掲載したように記憶していますが、それじゃあ告げているのは“秋の訪れ”どころか“夏本番の到来”(苦笑)。でも、もし日曜の第23節で群馬がセレッソ大阪に勝っていたら、この号から「J3順位表」を載せる決意でした。「入替戦ライン」から勝ち点2差になってしまうのですから。結果、群馬は勝たなかったですが、金沢が勝ったので「自動降格ライン」が一気に近くなりました。

●今年「下位チームの勝ち点が近く、残留争いは大混戦」に見えます。しかし、果たして「今年は」でしょうか？昨年と今年の「第23節」時点のJ2順位表を視比べてみましょう。

| | 2015年 | 2016年 |
|--------------|---------|-------------|
| 16 栃木 | 23p -9 | 横浜FC 24p -5 |
| 17 熊本 | 23p -11 | 岐阜 24p -11 |
| 18 水戸 | 22p -7 | 讃岐 23p -8 |
| 19 徳島 | 22p -8 | 東京V 23p -11 |
| 20 京都 | 22p -10 | 北九州 20p -17 |
| -----入替戦ライン | | |
| 21 大分 | 19p -8 | 群馬 19p -12 |
| -----自動降格ライン | | |
| 22 岐阜 | 19p -22 | 金沢 19p -14 |

どうです、この驚くくらいの類似性。「今年は」残留争いが大混戦……なんて思ってしまいますが、この時点での下位チームの勝ち点はだいたいこんなモンなんです。

注目していただきたいのは、昨年に自動降格したのは「この時期に16位だった栃木」だったということ。栃木はこの後、下位6チームとの直接対決で1勝も出来ず(3分3敗)、2試合を残した第40節終了時で自動残留の可能性をなくしてしまいました。

J2リーグに生き残るには直接対決をいかに制するか、今日の金沢戦の「重要さ」がわかっていただけかと思えます。ちなみに、上の順位表で昨年今年も名前が載っているのはFC岐阜だけ。この“不名誉”を「仕方がない」と受け入れるのは、私には困難です。FC岐阜は、「この位置を定位置とするに相応しいチーム」でしかないのでしょうか。

(吉田铸造)

FC岐阜 2016 応援曲(チャント)・コール集

選手・コール(試合開始前)
※試合が始まる時は、みんなで手拍子をしてスタジアムを盛り上げましょう。
オーイ! ●●●●、オーイ! ●●●●、
オーイ! ●●●●、オーイ! ●●●●、

選手・コール(選手入場時)
※タカノアツマアツマ、ゲートアラブリッジ、梅枝選手を応援しましょう。
日曜日よりの使者(サ・ハイロウズ/日曜日よりの使者)
We are岐阜 We are THE Gifu ララララ ララララ
We are岐阜 We are THE Gifu ララララ ララララ (ギョッ!)

選手・コール
1) エフ! シー! ゴッ! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
2) ゴール! ゴール! エフ! ゴッ! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
3) ウー! アー! ゴッ! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●

選手・チャント
FC岐阜 We Love You (水原選手/おせせきソング)
オオオオ オオオオ オオオオ オオオオ (FC岐阜!) ※応援です
FC岐阜 FC岐阜 We Love You (オイ! オイ! オイ! オイ! オイ!)
エンターテイナー (S JAPAN/ The Entertainment)
オオ オオ オオ オオ Oh エフ! 岐阜アレー
オオ オオ オオ オオ Oh エフ! 岐阜アレー
さあ、胸を張って 競おうぜ 緑の勇者(ゆえ) アレー
チームチャント(仮称)
ララ ララ ララ ララ ララ ララ ララ ララ ララ ララ ララ ララ
ナダレ! (Happy Anniversary)
バモ岐阜バモ 友よ さあ行くぞ ナダレろ 愚れろ われらと
熱い気持ち バモ岐阜バモ いざ 今競おう
優勝に(オアシナル)
僕達で 共にいる どんな時も お前と
今ここで みせる岐阜 勝利(は)の駒に 競え
優勝なら(オアシナル)

共にいこうぜ われらと ラララ ラララ ラララ ラララ
共に競え(た)かえ われらと ラララ ラララ ラララ
勝利をつかめ きみが運(は)とこなら
バモ バモ GOLAZO(ゴラツ)! ラララ ラララ ラララ
我ら岐阜 (Real Hells bay/トルコ軍旗行進曲:Golden Darden)
WE ARE Gifu WE ARE Gifu ラララ ラララ ラララ
おお友よ いざゆかん勝が今ここに さあ勝利(は)の駒に競え われら岐阜
ラララ ラララ ラララ ラララ ラララ ラララ
ラララ ラララ ラララ ラララ ラララ ラララ
アツク競え
オオ オオ オオ 友よ さあ 俺達ととーもにー
オオ オオ オオ 友よ アツク 競えー
Boys In Green (Bashunter/I can walk with water, I can fly)
運(た)まいい! 思きなつまる! まで 運(た)ける(か)ける! 運へ 友よ
勇気(ゆめ)の駒に 一歩(ひと)はなせ 運じてーい! Boys In Green
(*)最初はこの歌詞で拍手し、後は「ラ」で歌い進める。勝利派。
俺たちと共に(オアシナル)
オオ オオ エフ! 岐阜 おおれーたーととーもにー
オオ オオ エフ! 岐阜 すべてを(か)けー たたかえー

選手・チャント
グットゴール!
ラララ ラララ ラララ ラララ ラララ ラララ ラララ ラララ
ラララ ラララ ラララ ラララ ラララ ラララ ラララ ラララ
(ザッ! タ! ゴール!)

俺らは歌う
ラララ俺らは歌う 岐阜の誇り(は)の駒に
友の勝利を信じ 熱い声を響かせるのさ
ザンクトパウリ
ラララ ラララ ラララ ラララ ラララ ラララ
ラララ ラララ ラララ ラララ ラララ ラララ
ケルン
オオ オオ オオ オオ オオ オオ オオ オオ オオ オオ
さあ行くぞ We Are Gifu しーりーからも とーもにー
(*)歌詞が「ラ」で歌うフレーズは、それぞれ2回ずつ繰り返す。
アレー! 岐阜アレー

アレー! 岐阜アレー アレー! 岐阜アレー
アレー! 岐阜アレー アレー! 岐阜アレー
アレー! 岐阜アレー アレー! 岐阜アレー
アレー! 岐阜アレー アレー! 岐阜アレー
アレー! 岐阜アレー アレー! 岐阜アレー
FORZA FC岐阜
ララ ララ ララ ララ ララ ララ ララ ララ ララ ララ
フォルツァ FC岐阜! フォルツァ FC岐阜!
フォルツァ 岐阜 フォルツァ FC岐阜!
SUNRISE GREEN (UNDRING/SUNSET BLUE)
行け 行け われらが FC岐阜
We are Gifu We love Gifu, Let's Go! FC岐阜
行け 行け われらが FC岐阜
支え続けーるから (オイ! オイ! オイ! オイ! オイ! オイ!)

勝利のチャント ※試合に勝つ喜びを、勝利に感謝しましょう。
アイーダ(凱歌行進曲) (Guapote Verd/Grand March from eida)
オオ オオ オオ オオ オオ オオ オオ オオ オオ オオ
FC岐阜! FC岐阜! FCぎーっ! っふ!
俺らの勝利(は)の駒に(は)の駒に(は)の駒に(は)の駒に(は)の駒に
オオ オオ オオ 俺らの勝利(は)の駒に(は)の駒に(は)の駒に(は)の駒に(は)の駒に
シヤナナ (Mine/Syana)
ラララ ラララ ラララ ラララ ラララ ラララ
ラララ ラララ ラララ ラララ ラララ ラララ
勝利の賛歌(オアシナル)
WE ARE Gifu 共に われらは 歌う
緑の友よ われらは勝利(は)の駒に
岐阜(かん)の叫びで 大地を震えろ(は)る
勇ましく(は)れ! われら岐阜 勝利(は)の駒に(は)の駒に(は)の駒に(は)の駒に(は)の駒に

選手・コール(チャント)
※選手・チャントは、試合開始前から行われます。
1 GK 常葉 悠(は)きざね(は)きざね(は)きざね! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
2 DF 阿部 正紀(あ)まきのり(は)まきのり! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
3 DF ウェリントン ロシヤ(Waiting Rooha)新加入! サントス! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
4 DF 岡根 直哉(あ)ね なおや(あ)ね なおや! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
5 MF 青木 翼(あ)き つばさ(あ)き つばさ! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
6 MF 高地 英治(た)かち ひろし(た)かち ひろし! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
7 MF 田中 パウロ(た)なか ぱうろ(た)なか ぱうろ! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
8 MF 秋葉 陽(あ)きは まさあ(あ)きは まさあ! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
9 FW エヴァンドロ(Evandro)新加入! エ! ヴァン! ドロ! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
10 MF レオナルド ロシヤ(Leonardo Rooha)新加入
【レ! オ! ロシヤ! レ! オ! ロシヤ!】
11 FW 遠藤 純輝(えんどう じゅんき) 【ジュンキ! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●】
えん・どーろ! ダンガン純輝 さあ行くぞー
ケツ! ゴール! ダンガン純輝 オオ オオ
14 MF 風間 宏矢(か)ざま こうや(か)ざま こうや! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
こうやー こうやー アレ風間宏矢

15 MF 田中 大己(た)なか だいじ(た)なか だいじ! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
17 DF 野道内 俊(の)のり としゆん(の)のり としゆん! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
オオ オオ 野道内俊 共にどこまでーもー
オオ オオ 野道内俊 いこうぜ ララララララ
18 DF 富士 祐樹(ふ)じ ゆうき(ふ)じ ゆうき! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
19 MF 益山 司(ます)やまつか(ます)やまつか! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
益山 司 オオ オオ オオ 俺らの司 岐阜の司
20 DF 鈴木 潤(す)ずき じゆん(す)ずき じゆん! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
21 GK 高木 善成(た)かぎ ぜんせい(た)かぎ ぜんせい! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
22 GK ポー ヴィリアム (William Popp)新加入
【ウィ! リ! アム! ウィ! リ! アム!】

23 MF 小野 悠斗(おの ゆうと) 【おのゆうと! オレ! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●】
24 FW 関塚 崇明(せ)んづか ともあき(せ)んづか ともあき! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
オオ オオ オオ 健波 オレー 駆一ヶ一抜けろ 健波 ゲットゴール
27 MF 藤原 泰輔(ふじはら たいすけ) 【たいすけ! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●】
28 MF 水野 泰輔(みずの たいすけ) 【たいすけ! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●】
29 FW 船本 ブルーノ(ふねもと ぶるーの)新加入! ブルーノ! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
30 DF 田代 雅也(た)しろ まさあ(た)しろ まさあ! 新加入! まさあ! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
32 MF 小川 雄次(おがわ ゆうじ) 【ゆうじ! だいい! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●】
33 FW レオナルド ロシヤ(Leonardo Rooha)新加入! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
オオ! レオ! ゴー! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
レオナルド ロシヤ レオナルド ロシヤ
34 FW 田中 連也(た)なか れんや(た)なか れんや! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
35 DF 藤原 剛(ふじはら ことし)新加入! いわせ! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
36 FW 瀬谷 亮(せ)や てる(せ)や てる! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●

37 MF 藤原 泰輔(ふじはら たいすけ) 【たいすけ! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●】
38 MF 水野 泰輔(みずの たいすけ) 【たいすけ! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●】
39 FW 船本 ブルーノ(ふねもと ぶるーの)新加入! ブルーノ! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
40 DF 田代 雅也(た)しろ まさあ(た)しろ まさあ! 新加入! まさあ! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
41 MF 小川 雄次(おがわ ゆうじ) 【ゆうじ! だいい! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●】
42 FW レオナルド ロシヤ(Leonardo Rooha)新加入! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
オオ! レオ! ゴー! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
レオナルド ロシヤ レオナルド ロシヤ
43 FW 田中 連也(た)なか れんや(た)なか れんや! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
44 DF 藤原 剛(ふじはら ことし)新加入! いわせ! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●
45 FW 瀬谷 亮(せ)や てる(せ)や てる! ●●●● ●●●● ●●●● ●●●●